

第44回 九州連合会長杯軟式野球大会 長崎県大会

会期 令和3年4月3日(土)

会場 長崎市総合運動公園かきどまり野球場

A級3チームによるリーグ戦			
	試合時間	一塁側	三塁側
第1試合	08:30~10:30	三菱重工長崎	長崎サニクリーン
第2試合	11:00~13:00	三菱重工長崎	十八親和銀行
第3試合	13:30~15:30	長崎サニクリーン	十八親和銀行
三菱重工長崎の棄権により、下記の1試合のみ			
第1試合	10:00~12:00	長崎サニクリーン	十八親和銀行

【第1試合】 開始 10:00 終了 12:05 所要 2時間05分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
長崎サニクリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
十八親和銀行	1	1	0	0	0	1	0	3	X		6

【審判】

(球)徳弘
(一)小林
(二)鶴巻
(三)木下

(投手-捕手) 牧、吉田、浦志-奥田(長崎) 森内、岡部-高坂、小川(十八親和)

【二塁打】岡部

十八親和銀行は初回に先頭四球と犠打失の2走者を犠打で進め4番北田の一ゴロの間に三走が還り先取点。二回には先頭右安打の高井が犠打二進。森内が右安打の一死-三塁に9番貴の一ゴロで高井が還り追加点。三、四回にも3安打で走者を出すが無続が無く、六回一死後に四球から二盗と暴投三進に敵失を絡めて3点目を挙げると、八回には代った吉田から一死後に四球を得て二盗。悪送球で生還し、四球の二死-二塁に岡部の中二塁打で2走者を還して突き離れた。

長崎サニクリーンは初回に平田が先頭安打するも二進どまり。四回も先頭四球が二進までで後続が無く、六回二死後に連続四球も中軸に快打が無かった。七回になって先頭敵失から犠打失に野選などで初めて三塁を踏んだが後続の2打者が満塁走者を進めることができず、八回から代った岡部に対しては、2番打者以後の6人が凡退し、1安打3四球に封じられた。

十八親和銀行と長崎サニクリーンの2チームは、5月8日~9日に長崎県4会場(県営ビッグN、長崎かきどまり、諫早第1、第2野球場)で開催の、第44回九州連合会長杯軟式野球大会(九州8県×2チーム=16チーム)に長崎県代表として参加する。